

【教育目標 夢中になる とともに創る】



きらきら

新潟市立沼垂幼稚園
園だより
令和5年10月12日発行

一人一人が創る運動会

園長 青木博子

順延で迎えた日曜日。秋晴れが広がる、絶好の運動会日和になりました。多くの保護者の皆様，地域の皆様からおいでいただき，運動会が行われました。

「おまつりに行こう！」の踊りは，年長の子どもたちが自分たちで考えました。それを年中，年少の子どもたちに楽しそうに踊って見せたり，動きを教えたりしてきました。その中で，年少，年中の子どもたちもあっという間に気に入って，一緒に楽しく踊っていました。踊っている友達や先生を見ていたり，音楽をじっと聴いていたりすることで楽しむ子どももいました。楽しみ方は一人一人の子どもそれぞれです。それがよいのです。また，いつもと違う雰囲気や新しい場面に戸惑ったりどきどきしたりしながらも，がんばっている子どもたちもいました。とても素晴らしい姿です。



年少児は初めての運動会でした。これまでずっと，お部屋や園庭で積み木を渡ったり，広い園庭を走り回ったりと自然と身体を動かしてきました。メダルをかけてもらったときの誇らしそうな表情と閉会式の「楽しかった！もっとやりたい！」「がんばった！やりきった！」の表情が，充実した日であったことを物語っていました。



満3歳の子どもたちは，これまでずっと，一緒に走ったり踊ったりしてきました。この日も笑顔で一生懸命に走り，誇らしそうに賞品をもらっていました。

年中児は，年長児が競技の時には，年長児に代わって様々な役をやってくれました。ゴールで讃えて迎えること。ゴールテープを持つこと。レースが終わるごとにパンやトレイなどの用具を次のレースのために用意すること。ほかにも片付けや準備です。そして，これまでずっと，年長児の姿を見て，準備や片付けをしてきました。



年長児のリレーは今までにないものでした。それは，学年を2つのチームに分けて競うのではなく，クラスみんながワンチームでリレーし，合計タイムを計測し記録更新していく，タイムレースの方法です。つまり，自分の記録の更新が目的です。中には走ることに苦手意識を感じている子どももいますが，自分の記録を更新することが目的になるとどの子どもも頑張る姿が見られていたのです。ここに至るまでには，マラソンリレーに始まり，2

つに分かれて行うリレーも楽しみながら行ってきました。様々なリレーを行い、走る度に、担任と子どもとで対話を重ねてきました。そして「タイムレースをやってみよう」ということになり、記録更新に向かって毎日タイムレースリレーが始まりました。目に見える相手はいませんが、記録更新目指して一人一人が毎日精一杯の走りをしてきたのです。



運動会当日は、1回目は新記録。2回目は更にその記録を上回る新記録となったのです。

年長の担任はこんな風に話してくれました。「この時期に大切なことは、子どもに苦手意識をもたせないことです。競争させることを重要視せず、楽しさの中から、子ども自身が『こんなふうになりたい』『ここまで頑張ってみよう』と目標をもって取り組もうとする姿が挑戦する姿につながります。また、友達が存在がいてこそ考える力や挑戦する力が育まれるものです。そして、友達が存在があってこそ、刺激し合ったり支え合ったりする経験ができるのです」と。

2回目の記録更新の後、年長児みんなで保護者の皆さんの前、園庭を一周しました。そのウイングランをする誇らしげな表情に、大きな拍手が贈られました。そして、ゴールには、年少、年中の子どもたちが待っていて、笑顔で迎えてくれました。

沼垂幼稚園らしい、子どもたちの手で創り上げた運動会でした。秋の日射しの中で、子どもたち一人一人が輝いていました。

子どもの「楽しい気持ち」や「がんばり」は、誰かと比べるものではありません。子ども一人一人が感じる楽しさやうれしさ、がんばり、一人一人が創り出す工夫や取組そのものを、私たちはこれからも大切にしていきます。

本当にありがとうございました

今年も運動会で感動したことがあります。

少しまわり道になったり、狭い通り道になったりすることがわかっていましたが、近隣の地域の皆様のご配慮も考えて、保護者の皆様の入口を園の後ろからとさせていただきました。開場の前に行って、驚きました。整然と、さらに静然と並ばれていました。入場とともに、押し合うこともなく、敷物を置かれていました。椅子をどうしても使われる方は後ろの方に行かれるなど、皆が見やすい環境を作られていました。

子どもたちのすごい頑張りは、観客の皆様の素晴らしい盛り上げによって、つくり上げられたと思っています。優しく温かい拍手、わあーっという歓声が子どもたちを包んでくださったのです。どうしてもわが子の頑張りに力が入ります。でも、私たちの保護者の皆様のご応援は、分け隔てなく、子どもたちみんなに降り注いでいました。

この保護者の皆様がいるからこそ、この前向きで優しい子どもたちがいるのだと実感しました。子どもたちの懸命に走る姿に、そしてそれを支える皆様の、とても優しい眼差しに、感動で心が震えました。

今年も保護者の皆様のご協力によって、盛会のうちに運動会を終えることができました。本当にありがとうございました。